



医療法人 聖仁会

KOBATO

広報誌『こばと』

Vol.63

2022年 秋号

INDEX

ごあいさつ1・2P

院長講演会報告3P

第19回聖光会学会案内...3P

部署紹介 栄養科4P

ご挨拶

秋も深まり夜の寒さも強まってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年、一昨年同様に年末年始の新型コロナウイルスの大流行やインフルエンザウイルスとの同時流行（ツインデミック）も気が気ではありません。コロナ禍も3年近く経て病院での対応も習熟しまして、発熱者外来・疑い症患者・感染後患者の入院・コロナワクチン接種等新型コロナ関連医療と日々の外来・入院等通常医療を同時に提供することができています。

さて、話は変わりますが、昨今のウクライナ情勢や物価高の影響は皆さんの家計簿だけでなく当院においても同様に診療材料費などが高騰し、保険診療においては価格転嫁できませんので、節約・節資源が必要となります。そこで当院でも50周年を迎えた今年から「SDGs」（国連が掲げる17の持続可能な開発目標）へ積極的に取り組むことにしました。温暖化・異常気象などの地球環境の変化を日々身近に感じるようになり、17の目標の内「健康と福祉」「質の高い教育」「省エネ・クリーンエネルギー」「街づくり」「医療のIT化などの技術革新」は、私どもが取り組んでいくものと考えて、まずはこの冬より節電の徹底を行うことに致しました。

院内が暗くなるなどご迷惑をお掛けすると思いますがご了承ください。これからも、地域共生社会の一員として、住み続けられる、住み続けたい街づくりに関わっていきたくと思っています。

医療法人聖仁会 西部総合病院・西部在宅ケアセンター・西部総合病院健診センター
理事長 西村 直久

※聖光会メディカルケアグループは埼玉県・さいたま市の「SDGs」パートナーです。



【院是】

病める人に対し良き奉仕者たれ

【基本理念】

倫理心・生命尊厳を重んじ「全人的な医療」を提供する
誠心誠意医療・介護を実践し「安心と満足」を提供する
地域の皆様と共存・発展し「喜びと幸せ」を共有する



埼玉県

ONE TEAM SAITAMA

SDGsパートナー



ご挨拶

晩秋の候、木々の紅葉も鮮やかでイチョウの黄金色も目に眩しい昨今ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、世の中はオミクロン株によるコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、円安&物価高等の騒動でなかなか安堵のため息をつく暇がありませんね。その様な中、気分転換を兼ねて、11月のカタール開催でのサッカーワールドカップを観戦し、日本チームを応援しようではありませんか。強豪国との対戦を克服して予選リーグ突破によるベスト8進出を期待したいものです。

当院は病院機能の充実には絶えず苦心しております。病棟スタイルは地域に密着した急性期から療養期までをフルカバーするケアミックス型病院として機能しています。他方、外来はユニークな専門医療の充実に注力しています。生活習慣病に対応した糖尿病外来、循環器外来等を開設しており、その他、物忘れ外来、内分泌（甲状腺など）外来、外来化学療法（主に悪性腫瘍患者を対象）等も併設しており、中身の濃い特殊診療を実践しています。是非、ご利用ください。

「病める人に対し良き奉仕者たれ」が院是であります。今後も患者様へ寄り添う姿勢をモットーに良質な医療提供を行っていきたいと考えています。当院が皆様の健康維持に少しでも貢献できれば幸いです。

医療法人聖仁会 西部総合病院
院長 犬飼 敏彦

紅葉が美しい季節になりました。紅葉と共にその枝に実る果実が色とりどり季節を彩り、私の食欲をかき立てます。栗・柿・みかん・林檎、最近の一番人気（当社比）はシャインマスカットですが、こちらは財布と相談でなかなか口に入らないのが残念です。

先日あるアンケートで「仕事をする上で大事にしていることは」の質問に、当院医療療養病棟の20代看護師が、「寝たきりの患者さんが多く自分でどうして欲しいのか言えない方が多い。その中で患者さんの気持ちを汲み取り、どうして欲しいのか、何を望んでいるのかを考え察する事ができるように、患者さんひとり一人とのかかわりを大事にしています。そして私の声かけに対しあまり反応しなかった方が反応してくれたり、笑顔を見せてくれるようになると看護師をやっていて良かった。『看護師としてのやりがい』だ」と答えてくれました。また、うちの師長さんは「〇〇さんが笑ったよ」「〇〇さんがお話ししたよ」と、すごく嬉しそうに話すんです。同じ思いで仕事ができているのも楽しいです。と話してくれました。医療療養棟は医療ニーズが高く忙しい病棟です。そんな中でこのような思いを持ち看護に当たってくれている看護師がいることが大変嬉しかったです。

秋の果物が実るように、看護師の思いのこもった果実が毎年実るように私も木々の成長を育みたいと思います。

ところで、今年はインフルエンザと新型コロナウイルスのW感染も懸念されています。予防接種と引き続きの感染対策に努めて参りましょう。

医療法人聖仁会 西部総合病院
看護部長 長谷川 啓子



犬飼院長の講演会を 開催しました!!

2022年10月13日に北浦和マンション集会室にて、大久保地区社会福祉協議会主催の健康教室において、当院の犬飼院長が「生活習慣病よもやま話」－糖尿病を中心として－と題して講演会を行いました。この講演会は2年ほど前から話を頂いていたのですが、新型コロナ流行により、延期となっていたものでした。

当日は40名を超える地域の方々にお集まり頂きました。皆さん熱心に聞いて下さり講演終了後には、「長生きするためには」「認知症にならないためには」など様々な観点から活発な質疑がありました。

新型コロナの流行によりなかなか人が集まっての催しが行いにくくなっておりますが、地域のこのような機会に積極的に関わってまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。



第19回 聖光会 学会 開催

今年の聖光会学会は犬飼院長を学会長として、10月29日に会場開催を目指して調整をしておりましたが、コロナウイルス流行状況により、残念ながら昨年に引き続きWEBでの開催となりました。

現在、1月よりのWEB開催を目標に抄録・データ作成を行っております。日々の診療や業務の中からの改善や提言が詰まっている演題が、聖光会グループ全体で52題の登録がありました。

医療法人聖仁会からは、西部総合病院から医師3題・看護部11題・リハビリ部6題・検査科1題、在宅ケアセンターから3題の合計24題が登録されています。

日頃よりご利用いただいている皆さんや職員の業務改善に役立つ学会になるように学術研鑽を行ってまいります。



部署 紹介

栄養科

西部総合病院の
各部署をご紹介します!

みなさまどうぞ
宜しくお願いします!



西部総合病院の栄養科には管理栄養士が6名勤務しております。栄養科の業務としては給食管理業務と栄養管理業務に大きく2つあります。給食管理業務には献立作成・材料集計発注・食材納品・調理・配膳・食器洗浄・消毒等の業務があり、当院では給食会社（シダックス）に業務委託をしております。

委託業者とは定期的に行事食・選択食の検討や報告、また残食などの検討により献立改善を図っており、食事内容・栄養管理状況などが食事箋に則しているか、検査などを通じて確認管理を行っております。毎月看護師・言語聴覚士・委託先栄養士・病院管理栄養士などで給食会議にて症例検討会等を行っております。

栄養管理業務としては、栄養管理計画書作成・病棟カンファレンス参加を行っております。

各病棟を管理栄養士の担当制として個々の患者さんの状態把握に努め多職種共同による栄養管理に努めています。

また当院は栄養改善により治療効果を高める目的で NST（栄養サポートチーム）の活動を行って医療従事者全体で適正な栄養管理や食事形態などを検討しております。嚥下機能評価加算も取得しており、管理栄養士もこの活動に積極的に参画しており栄養・食事といった根幹を支えていこうと思っています。

医師の指示により入院・外来問わず患者さんに食習慣の改善を目指し個別の栄養指導も行っております。今後も患者さんを含めたチームとして栄養改善に取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。

栄養科 科長 鈴木 美絵

NST (栄養サポートチーム)



個別の
栄養指導も!